

財務・資本政策



取締役 兼 常務執行役員

工藤 幸四郎

現在の中期経営計画達成に向けた取り組み

当社グループは2022年に100周年を迎えますが、歴史を振り返ると、人財・技術・事業の「多様性」と「変革力」を強みに、変わりゆく社会課題に対して事業を通じて価値を提供し続けることで常に成長してきました。中期経営計画「Cs+ for Tomorrow 2021」においても、「持続可能な社会への貢献」と「持続的な企業価値向上」の好循環というサステナビリティの実現を目指しています。「持続可能な社会への貢献」においては、当社グループが社会へ価値を提供できる分野に人財や技術なども含めた経営資源を集中させることでより高い価値を提供します。また、「持続的な企業価値向上」においては、事業ポートフォリオの転換を加速させ、財務・資本政策などを着実に進めることで、株主資本コストを上回る

資本効率(ROE)の持続的な実現を追求していきます。

キャッシュ創出力の向上と財務基盤の強化

当社グループでは、「マテリアル」「住宅」「ヘルスケア」という3つの領域で事業を運営することにより、安定した収益性を実現しています。2020年度は、米中対立やCOVID-19感染拡大の影響等により、中期経営計画「Cs+ for Tomorrow 2021」策定時の計画と比べて、「マテリアル」領域は回復傾向にあるものの収益が低迷し、「住宅」領域は1年遅れの利益の見通しとなりましたが、「ヘルスケア」領域は順調に推移しました。加えて、経営環境の変化を踏まえて財務規律を重視し、設備投資・投融資の案件を厳選したことや適切な在庫管理・経費管理を徹底するなど、財務基盤の維持・強化に

主要経営指標の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	18,830億円	20,422億円	21,704億円	21,516億円	21,061億円
営業利益	1,592億円	1,985億円	2,096億円	1,773億円	1,718億円
売上高営業利益率	8.5%	9.7%	9.7%	8.2%	8.2%
EBITDA*1	2,684億円	3,119億円	3,136億円	2,956億円	3,051億円
1株当たり当期純利益(EPS)	82.34円	121.93円	105.66円	74.85円	57.49円
自己資本利益率(ROE)	10.5%	14.0%	11.1%	7.6%	5.6%
売上高当期純利益率	6.1%	8.3%	6.8%	4.8%	3.8%
総資産回転率	0.84	0.89	0.89	0.80	0.73
財務レバレッジ	2.0	1.9	1.8	2.0	2.0
投下資本利益率(ROIC)*2	7.8%	9.7%	8.8%	6.6%	4.9%
D/Eレシオ	0.35	0.23	0.31	0.52	0.45

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形・のれん)

*2 ROIC=(営業利益-法人税等)÷期中平均投下資本

努めました。その結果、営業キャッシュ・フローは中期経営計画の策定時の3カ年目標である6,000億~7,000億円に到達することを目指せる業績推移となりました。引き続き、事業ポートフォリオ転換を通じた収益性や資本効率の持続的な向上に加えて、過去の設定投資・投融資からのリターンの最大化や生産性の向上を通じた、キャッシュ創出力の向上に努めていきます。

また、有利子負債においては、中期経営計画「Cs+ for Tomorrow 2021」で想定していた2,000億~4,000億円の範囲での増加を見込み、D/Eレシオは0.5を目安とした調達を引き続き実施していきます。

環境変化に対応した設備投資・投融資

依然として経営環境の不確実性・不透明性が増す中、資本コストを意識しつつ、より持続的成長が見込める設備投資・投融資へのリソース配分を集中させる考えです。中期経営計画「Cs+ for Tomorrow 2021」の3カ年における設備投資・投融資は、当初の計画より案件を厳選した結果、7,000億~8,000億円の水準で意思決定を行う計画です。今後につきましても、「ヘルスケア」領域におけるM&A、「マテリアル」領域の価値提供注力分野における事業の生産能力増強、DXやサステナビリティ関連等のテーマへの投資を積極的に行っていきます。

株主還元

当社は、株主還元については、持続的なキャッシュ・フロー創出のもと、事業拡大のための成長投資と財務体質とのバランスを考慮し、中長期的視点で安定配当かつ継続的な

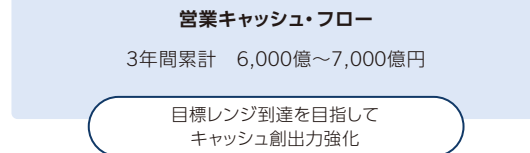
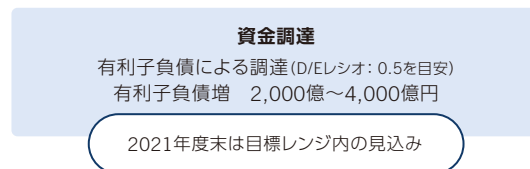
増配を目指すことを基本方針としています。具体的には、配当性向30~40%を目安としながら、DOE(株主資本配当率)の観点も取り入れて、配当水準の安定的向上を目指します。2021年度の年間の1株当たりの配当金は34円を維持

する計画*で、中期経営計画「Cs+ for Tomorrow 2021」の3年間では、配当性向は40%以上になる見込みです。

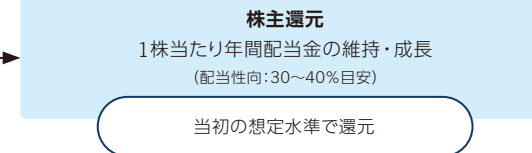
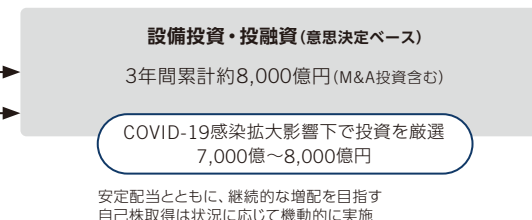
* 2021年5月発表の予想

財務資本政策の概要

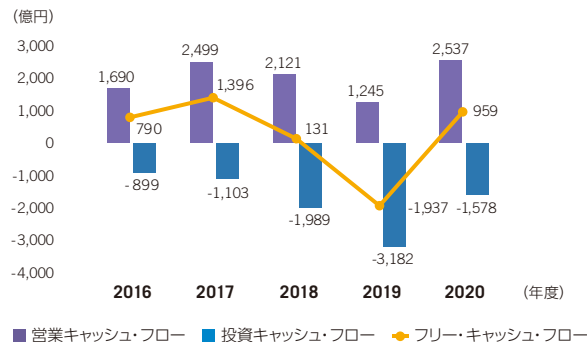
成長資金の調達(財務規律の範囲内)



資本コストを上回るリターンを追求



キャッシュ・フローの推移



1株当たり年間配当金と配当性向

